主な記事
２・３面　2026都本部現業セミナー
さよなら原発集会　9.23全国集会
コラム　統一闘争って何？どうして必要なの？
「職場のカスハラに関する実態調査」ご協力のお願い
都本部女性部主催　女性労働カフェ
「とぼた」に登録しよう！
４面　私のおすすめ（西東京市職員労働組合　執行委員長　町田　宏）
第29回ベストショットコンクール

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号
SKプラザ4階
電話 03-3556-3755
自治労東京都本部 企画総務局 発行
責任者　松村　誠治
編集者　西岡　芳宏
1部10円（但し組合員は組合費に含む）

都本部第52回中央委員会

組合員の「声」に基づく労働条件の改善など７つの重点課題で当面の闘争方針を確立

９月26日、都本部は第52回中央委員会をウェブにて開催した。産別統一闘争への結集と組合員の『声』に基づく労働条件の改善、再任用職員の一時金支給月数の改善等を重点課題として盛り込んだ「当面の闘争方針」など６議案が審議され、すべての議案が圧倒的多数で承認された。

冒頭、主催者挨拶に立った松村中央執行委員長は「自治労本部の第１００回定期大会で提起された『運動と闘争の強化に向けた産別体制・財政の構造改革案』については、都本部は一貫して『取り組む順序が重要である』との立場から発言してきた。結果として賛成多数で承認されたが、都本部はこれまで同様、財政的見直しを進めていきながら、各単組が抱える現場課題に寄り添い、支援・連携を強化してまいりたい」と述べた。

都本部は来年３月開催の第76回定期大会までの当面の闘争方針を提起。議案に対して３単組より質疑があり、①東学労組の田野辺中央委員より、「組合員の政治意識は多様で、役員との間の意識の差が大きいことを前提に、鬼木まこと必勝にむけた取り組みを行うべき」、②立川市職労の三木中央委員より、「35歳以上にも住居手当を支給できるよう統一闘争に重点課題として盛り込んでほしい」、③新宿区職労の阿美中央委員より「再任用職員の一時金支給月数の改善について、人事委員会から人事院へ働きかけはあるのか。また、自治労の組合費の値上げについて昨年意見を出したが、その後の意見反映がきちんとされているのか。組織財政検討委員会で決まる前に単組との議論をお願いしたい。最後に、各単組の書記の組織化の状況と都本部の書記政策はどうなっているのか」との質疑があった。

これに対し、都本部からは「①組合員の政治意識が多種多様となっていることは、自治労が実施した政治アンケートの結果でも立証されている。都本部の政治活動は政策実現のためのものであり、政党のための活動でないことを、単組役員の皆様にご理解いただき、組合員への周知・徹底をお願いしたい。②人材確保の観点からも、住居手当を含め、年齢で区切る不合理な55歳昇給抑制、60歳超職員の7割水準なども改善を求めるべき事項として受け止める。③各人事委員会から人事院への働きかけについては現時点では本部から報告を受けていないが、市町職連絡会は先日、東京都行政部市町村課へ再任用職員の処遇改善等にむけて要請行動を行った。また、東京都は総務省へ再任用職員の賃金水準について改善を要請している。組合費の値上げについては、２０２７年度から議論を本格化させていく時期に入るため、組織財政検討委員会だけでなく、各単組のご意見を踏まえつつ対応を図っていきたい。書記の組織化については、一部の単組で自治労未加入の書記がいることは把握しており、オルグ等で組織化を進めている。今後も方針に則り進めてまいりたい」との答弁を行い、すべての議案が圧倒的多数で承認された。



▲松村中央執行委員長による団結がんばろう

２０２６人員確保闘争・現業統一闘争（第２次闘争）

社会環境の変化に対応する「質の高い公共サービスのあり方」を労使で議論し、恒常的な採用を

都本部は、現業職員を含めた総体的な人員確保を進めるため、人員確保闘争・現業統一闘争を「通年闘争」としている。第１次交渉のヤマ場は次年度予算要求時期に合わせて６月に展開、そして通年闘争のヤマ場として10月15日をヤマ場として第２次闘争を展開する。都本部は９月15日に開催した第７回単組代表委員会で第２次闘争にかかる具体的な取り組み方針を全体で確認した。

計画的な採用や技術職・現業職の確保、中途・経験者採用の活用を求める要望は、組合員から機関紙パズルの自由意見を通して繰り返し求められている。兼務発令の常態化、高い離職率、代替未配置、業務量に見合わない人員体制に対する組合員の切実な声を背景に、都本部は人員確保を年間重点課題として２０２６年度も春闘期から取り組みを進めてきた。春闘では４月段階での定数確保、６月の第１次闘争では欠員の早期補充を要求し、早期補充のための採用実施回答を引き出した。一部自治体では過員での人員確保を行うなど、各当局も定数確保を喫緊の課題と捉え、ジョブ型や通年採用の導入、受験年齢の拡大、公務員試験対策を要しない適性検査の活用など、多様なアプローチが展開されている。第２次闘争では、各単組が具体的な職場単位の人員体制協議を進めるための土台を統一闘争として構築する。今まさに、次年度の業務執行体制の基盤として、時間外労働の縮減、多様な働き方の実現など、業務量に見合う人員配置を強く求めていかなければならない。

自治体職場では、人員不足による長時間労働や業務の複雑化に加え、若年層のメンタル不調、カスタマーハラスメントを含む各種ハラスメントなどにより、ベテランから若手までが過酷な環境に晒されている。地方公務員安全衛生推進協会の最新統計（２０２４年度状況）によると、「精神及び行動の障害」による長期病休者数は10万人当たり2,372・9人、10年前の約1・9倍に急増している。こうした中、当局の申し入れによる「当局の理屈」の土台で協議を始めるのではなく、現場の意見を発端とする労使協議を進めることが極めて重要だ。都本部構成組織が同時期に同じ課題に取り組む統一闘争を契機とし、各単組・組合員が結集して現場からの要求を積み上げていくことが不可欠だ。

これまで基本とされてきた退職不補充を覆すために現業統一闘争における最大の課題は新規採用者の獲得だ。公共サービス改革法に基づく市場化テストや民間委託により、多くの自治体で退職不補充が基本とされてきた。その中で、八王子市職では市職員が直接実施すべき業務を整理し、新たな技能労務職「生活環境職」として恒常的な採用を行っている。東京清掃労組など区部でも、直営業務を整理し、住民サービスの質向上を軸に労使で意見交換し、議論を重ねた結果として、新規採用の確保に至った。既存の業務内容に固執せず、社会環境の変化に対応する「質の高い公共サービスのあり方」を労使で真剣に議論してこそ、恒常的な採用への道が開ける。都本部現業評議会は、現業セミナーで「現業職場のあり方検討会」の進め方を議論するなど準備を進めてきた。第２次闘争では、検討会の定期開催を統一指標に据え、各単組の取り組みの土台固めを図る。

＜闘争スケジュール＞

- ●要求書の提出ゾーン　９月16日（水）～10月１日（木）
- ●回答指定日　10月２日（金）
- ●交渉ゾーン　10月２日（金）～15日（木）
- ●統一行動日　10月16日（金）

自治労東京 ホームページのご案内
組合員のための情報盛りだくさん
・機関紙デジタル版
・家電の**限定優待販売**
https://jichirotokyo.jp/
組合員専用ページ
パスワード「tohonbu」

東奔西走

都本部では自治体単組を中心に単組オルグを実施している。コロナ禍前までは、毎年１回、春闘期にオルグを行っていたが、コロナ禍により途絶え、今年ようやく再開することができた。単組役員と直接顔を合わせ、課題や悩みを共有する中で、改めてコミュニケーションの大切さを実感している▼これは職場でも同じである。お互いが何を考え、何に困っているのかを知ることは、業務を円滑に進め、仲間と力を合わせるために欠かせない。しかし、人員不足による多忙化やメール・チャットの普及などにより、顔を合わせて話す機会は減っている。雑談をする余裕もなく、必要なことだけを伝える職場になってはいないだろうか▼だからこそ、「誰かが声をかけてくれる」のを待つのではなく、自分から声をかけることが大切である。難しいことではない。まずは「おはよう」から始める。その一言が会話のきっかけとなり、職場の雰囲気を変え、働きやすい職場をつくるきっかけとなるのである。（新海）

視覚障害その他の理由で活字のままで利用できない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の制作をすることを認めます。その際には自治労東京都本部までご連絡ください。

「あるべき姿を語り、理想を描き、要求へとつなげる」

2026都本部現業セミナー



都本部現業評議会は、質の高い公共サービスを将来にわたり持続的・安定的に提供していくため、9月12日～13日の2日間にかけて、八王子市役所職員会館で「2026都本部現業セミナー」を開催し、67人が参加した。

住民に必要とされる現場力の回復にむけ、職の確立・新規採用・再公営化をめざし取り組むことが重要となっている今こそ、自分たちの考えを持ち、発信し、交渉力を高めることが不可欠となっている。

◀職種別グループワークの様子

開会にあたり笹川現業評議会議長は「単に現業職員の増員を要求するだけではなく、なぜ現場を直営で担う必要があるのか、なぜ現業職場が地域に必要なのか、その役割を改めて社会に示していかなければならない。住民が何を求め地域にどのような公共サービスが必要なのか、自治体がどのように責任を持ち、担うのか。現場で働く私たち自身が、日々、住民の声を聞き、現場で培った知識や経験を持ち寄り、労使で政策的な議論を積み重ねていくことが重要だ。私たち自身が政策を語り、あるべき公共サービスの姿を描いていくことが必要なのだと思う。今回のテーマは『あるべき姿を語り、理想論を描き、要求へとつなげる』とした。こんな公共サービスがあったらいい、こんな仕事を自治体が担うべきだ、地域住民にとって本当に必要なサービスとは何かなど大いに議論したうえで、理想論を単なる夢で終わらせるのではなく、政策に、そして具体的な要求につなげていこう」と参加者へ投げかけた。

次に、自治労本部の吉村法対労安局長の講演では、4年間に渡る現業局長の経験から、今後取り組むべきこととして一業務の効率化・見直しが加速したとしても、公共サービスの提供は『人から人へ』が基本となり、住民から必要とされる業務を創り出し、実践していくことが現業職員の最大の強みである。"実践の積み重ねを記録し、可視化して当局との交渉に活かしていこう」と話された。

続いて、小金井市職より「職種間連携の事例」、渋谷区職労より「入札不調への対応事例」の報告を受けたほか、自治労現業評議会が主催する担い手育成連続講座受講生（八王子市職・東京清掃労組）から感想が述べられた。

その後、職種別グループワークでは、①実際に聞いている住民ニーズ（直接聞いた、職場の仲間から聞いた）②住民のためを考えた理想のサービス（労働条件は度外視し、やるべきやりたいサービスを追求）③必要な人員・機材（理想の実現に必要なものを予算度外視で考える）④具体的な要求項目の作成（訴えるべき発言内容も共有）の4つのステップに沿って、3時間を超える活発な熱い議論が交わされた。

都本部女性部主催　女性労働カフェ
「平和」と「女性の自立」を考える

都本部女性部では、単組の女性役員同士がつながり、職場や暮らしの中にあるさまざまな課題について気軽に語り合える場として、「女性労働カフェ」を2022年から開催している。単組に女性部組織がないところも多い中、女性役員のネットワークを広げ、女性の視点から労働や社会について学び、考えることを目的とした取り組みとなっている。

今年は、詩人・茨木のり子さんの生誕100年・没後20年にあたることから、「くらしの中の『平和』～暮らしの中にある「平和」について、ざっくばらんに語り合った。

参加者からは「詩について考える機会は学校以来で新鮮だった」「普段話す機会がない方と話すことで、いろいろな見方を知ることができた」「優しい雰囲気で、女性部ならではの企画で良かった」などの声が寄せられた。

普段の生活では、平和や人権についてじっくり考える機会は多くない。だからこそ、立場や職場を越えて語り合い、自分の暮らしや働き方を見つめ直す時間は大切だ。女性労働カフェが、女性役員だけでなく、組合員同士がつながるきっかけとなるよう今後も取り組みを続けていく。



▲講師の話を熱心に聞く参加者

「職場のカスハラに関する実態調査」ご協力のお願い

自治体窓口や公共サービス提供職場で、利用者からの理不尽な要求や大声での威嚇といった「カスタマーハラスメント（カスハラ）」が深刻化しています。東京都では2025年4月にカスハラ防止条例が施行され、本年10月からは改正労働施策推進法により対策が義務化されました。

都本部では、12月15日に開催する「カスハラ対策実践学習会」に先立ち、皆さんの職場でのリアルな実態や、対応に苦慮したケースを事前集約し、より実践的な学習会にしたいと考えています。

職場の環境改善にむけ、ぜひ生の声をお寄せください。

●回答方法：右記QRコードからご回答ください。
●回答締切：2026年11月20日（金）
※完全無記名での実施です。

さようなら原発　9.23全国集会
原発に依存しない社会の実現にむけて声をあげる



▲参加者は再生可能エネルギーの活用を街中で呼びかけた

9月23日、さようなら原発一千万署名市民の会の呼びかけによる「さようなら原発9.23全国集会」が代々木公園B地区イベント広場で開催された。当日はあいにくの雨となったが全体で4000人、都本部から143人が参加した。

今年はさようなら原発の前段集会として、平和フォーラム主催の「進む軍事力強化に反対する全国集会」が開催された。集会では、平和フォーラムの山木共同代表が「防衛費増額が当たり前という空気に流されず、平和を守るために声をあげていこう」と主催者挨拶を行った。続いて全国各ブロックから取り組みが報告され、最後には参加者によるプラカードアピールが行われた。

引き続き行われた「さようなら原発9・23全国集会」では、主催者を代表して呼びかけ人の鎌田慧さんが「原発を推進する高市内閣に対し、地道に、着実に運動を広げていこう」と挨拶した。次に、メインスピーチとして登壇したピースボート共同代表の畠山澄子さんが「戦争、原発、気候危機には共通点がある。持続可能でないこと、必ず不正義、不条理があることだ」と述べ、「危険や犠牲を誰かに押しつけるのではなく、次の世代が安心して暮らせる未来を作りたい」と語った。続くリレースピーチでは、立山大貴さん（ワタシのミライ）が「気候危機に原発が有効という政策は間違いだ」と指摘し、高野聡さん（原子力資料情報室）が「国がやるべきことは、これ以上核のゴミを増やさないことだ」と訴えた。さらに山崎誠さん（一社）全国ご当地エネルギー協会）が「皆さんと一緒に正しいエネルギー政策を進めていきたい」と語り、笠谷航平さん（311甲状腺がん子ども支援ネットワーク）が「原発さえなければ病気と闘う必要もなかった」と訴えた。集会の終了後は、参加者全員でシュプレヒコールを上げながらデモ行進を行った。

都本部は、政府の原発推進方針に反対し、再生可能エネルギーを活用した社会の実現にむけた取り組みを、今後も積極的に進めていく。

コラム

統一闘争って何？どうして必要なの？



機関紙のアンケートには、日々の現場から「人が足りなくて業務が回らない」「給与や手当を引き上げてほしい」といった切実な声が数多く寄せられています。組合として、みなさんから届いたこうした声をしっかりと受け止め、取り組みの大きな柱としており、今、「労働組合の意義とは何か」という問いを改めて考える機会が増えています。職場の課題を一人で訴えても、「他も同じだから」「全体の基準があるから」と後回しにされ、「個人の事情」と処理されてしまいがちです。だからこそ、個人の声を「働く者全体の声」へと高め、「この職場で働き続けたい」と思える環境をみんなで整えていくことこそが、労働組合の本来の意義です。

●統一闘争は社会全体を引き上げる取り組み

この労働組合の意義を現場で力強く形にする仕組みが、「結集」と「統一」です。

港に停まる船を一隻ずつ持ち上げようとしても、重くてなかなか動かせるものではありません。ですが、潮が満ちて海面そのものが上がれば、大きな船も小さな船も一緒に浮かび上がります。その潮を満たすとなるのが、私たち一人ひとりの結集です。各地・各職場の組合が集まり、社会全体の基準（相場）を引き上げる取り組みが、民間で言えば「春闘」であり、私たちの行う「統一闘争」なのです。各地の組合がバラバラに闘うのではなく、「時期」「要求内容」「行動」をあらかじめ揃えて一斉に交渉を行うことには、「個々の事情」という壁を破るための二つの効果があります。まず一つ目に、民間春闘がそうであるように、「結集して世間の相場を作る」ことです。一つの職場だけでは動かせなかった労働条件の基準や全体の底上げとなります。現場で組合員が感じる違和感、そしてそこから発せられる思いを確かな変化に変えていく。そのためにも、職場から共に声を上げて全体で結集し、この統一闘争という一つのシステムを有効活用していきましょう。

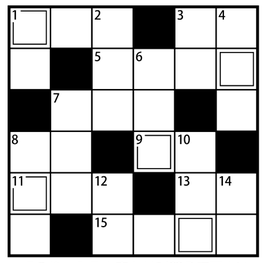
●統一闘争は全員参加によって課題解決の大きな推進力となる

統一闘争は、寄せられた声を受け止め、結集した力と集まる情報を武器にして、働く環境全体の底上げを図るための合理的なシステムであり、私たちの生活と将来を守る「全員参加のチームプレイ」です。世代や性別、雇用形態に関わりなく、職場に集うあらゆる仲間が声を掛け合い、足を揃えて進むことが大きな推進力となります。現場で組合員が感じる違和感、そしてそこから発せられる思いを確かな変化に変えていく。そのためにも、職場から共に声を上げて全体で結集し、この統一闘争という一つのシステムを有効活用していきましょう。

機関紙パズル　ほっと一息

タテのカギ
1．「縄文式」は縄目模様が特徴。
2．グッと耐え忍ぶこと。
3．紅葉の色といえば黄色かこれ。
4．「江戸」「薩摩」などが有名なガラス工芸。
6．絵や写真をつくること。
7．ママさん○○○で、トスからのアタック！
8．眠気がさして重くなる。
10．「はっけよーい、のこった！」と取る。
12．夏の日差しで痛んだ髪を補修剤で…。
14．水と混ぜればドロに。

ヨコのカギ
1．SNSの○○○配信を視聴。
3．紅葉が色づく季節。
5．金太郎が担いでいる。
7．「銀行」を英語でいうと？
8．「めったにない」ということ。
9．濃霧のこと。山に○○がかかり真っ白。
11．花嫁が手に持つ花束。
13．博多から全国展開した鍋の具といえば？
15．双方が同時に相手を攻撃し、打ち合うこと。



二重の枠に入る文字を並び替えて下さい。

●締切　2026年10月28日（水）

左記QRコードをスマートフォンなどで読み取り、必要事項を記入、ご応募ください。ご応募頂いた方の中から、抽選で10名様にギフトカード3000円分をプレゼントいたします。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

●9月1日号　漢字パズルの答え「晴耕雨読」

とぽた
じちろう東京ポータルサイト

スマホでカンタン！タイムリーな情報を手軽に入手！
「とぽた」に登録しよう！
✓組合員ならどなたでも利用できます
✓プッシュ通知をONにしてリアルタイムに情報を受け取れます！
組合事務所で登録用のQRコードを配布していますので、お気軽にお問い合わせください

1 労使交渉の結果や活動報告を閲覧できる！
単組の取り組みや記事をいつでもチェック！
機関紙

2 単組へ直接問い合わせできる！
ぜひ職場課題をお寄せください
相談　質問　要望

3 組合の福利厚生事業やおトクな情報が満載！
生活に役立つ情報を定期的にお届け！

4 スマホで簡単！いつでもどこでも確認できる！
シンプルで見やすいから、誰でもすぐに使えます！

とぽた　登録無料！
活動報告・機関紙を読む
単組の活動や機関紙をチェック！
REPORT
単組へ直接問い合わせできる！
ぜひ職場課題をお寄せください
組合の福利厚生事業やおトクな情報が満載！

ろうきん〈今月のおすすめ〉

育児用品購入　医療入院　介護施設入居費用　介護用品購入費用　出産不妊治療　インプラント手術
介護や育児、医療にも幅広く使える
〈中央ろうきん〉
福祉ローン
詳しくはコチラ
ご来店できなくても、大丈夫！
お申込みからご契約までWebで完結！　詳しくはコチラ

減ってうれしいのは、体脂肪と、返済負担。
ご利用中のカードローンを見直して、家計をスリムにしませんか？
〈中央ろうきん〉
カードローン〈マイプラン〉　詳しくはコチラ

新しいクルマで、新しい冒険を！
ろうさんがカーライフをサポートします
買い換え、他社ローンの借り換えも
〈中央ろうきん〉
カーライフローン

おめでとう
子どもの成長
待ったなし！
教育資金のご相談はお早めに
低金利と幅広い使いみち
〈中央ろうきん〉
教育ローン　詳しくはコチラ

◇商品の詳細については〈中央ろうきん〉お取引営業店までお問い合わせください

こくみん共済 coop NEWS
5125Q001

総合共済ならこんな場合も給付されます！
お手続き忘れていませんか
例えば…

結婚祝金
夫婦ともに組合員の場合は お二人とも 給付対象です。

死亡弔慰金
「親死亡」は実父母だけでなく、配偶者の父母（義父母）も対象です。

他にもさまざまな給付があります！　ご請求はお忘れなく！

総合共済
総合（慶弔）共済
不明な点があれば、まずは所属する組合にご連絡ください。
こくみん共済〈全労済〉全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合
「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

映画

『真実と反逆』 ～ナチスと闘った若きレジスタンス～

最年少レジスタンスの命をかけた闘いを描く

製作・監督・脚本：マット・ウィテカー

シネマジャーナル
編集者
穂曇　萌

ナチス政権下のドイツで、沈黙することが「忠誠」、真実を語ることは「反逆」とされた時代。16歳で国家の嘘を知り、17歳で処刑された、実在の「最年少レジスタンス」ヘルムス・ヒューベナー（1925年―1942年没）。実際にあった抵抗運動を描く。



●10月16日（金）よりヒューマントラストシネマ有楽町（☎03－6259－8608）ほか全国で順次公開される。
©2025 Truth&Treason. LLC. All Rights Reserved.

史実をなぞるだけに留まらず、「言葉」を武器に戦った若者たちの固い友情、愛する人々へ抱く切なる想いを描き、捜査や裁判が進むにつれて高まる緊迫感が観客に迫ってくる。

極限状態下での苛烈な抵抗運動。その対比が、当時の時代観を鮮やかに浮かび上がらせる。

1941年、16歳の少年ヘルムス・ヒューベナーは、通っている教会でナチス政権への服従を促され、ヒトラーの圧政に疑問を抱いた。ユダヤ人迫害に直面したことをきっかけに、禁止されている海外ラジオ放送を秘かに聴いた彼は、国家が隠し続けてきた戦争の実態や残虐行為を知ってしまった。

正義感に突き動かされたヘルムスは、親友二人を仲間に加え、国家の嘘を暴くビラを作成。町中に配布し、人々に真実を伝えていく。

彼らの勇気ある行動は、力強さと緊張感があったが、死刑に値する反逆罪だった。秘密国家警察の捜査が迫るなか、やがて逃れられない運命へと突き進んでいく。

2002年にヘルムス・ヒューブナーの実像に迫ったドキュメンタリー作品を手がけたマット・ウィテカーが、監督・脚本・製作を手がけ、その時の取材成果をもとに物語を再構築し劇映画として完成させた。

私のおすすめ

『良い加減』のおすすめ

西東京市職員労働組合　執行委員長
町田（まちだ）　宏（ひろし）



●出身県：東京都
●組合歴：2016年　執行委員
　　2022年　執行委員長

児童館に勤務する私にとって、最近の社会の向かう方向性、子どもたちを取り巻く環境を非常に危惧する事がある。子どもたちのストレスが最高潮に達している。中高生の自殺者数が令和5年513人、令和6年529人、令和7年532人と増加している事もこれを示すものである。

現在の社会は共生社会。それぞれの特性や個性を認め合い誰もが自分らしくいられる社会をうたう一方、間違いや失敗を認めず正しい答えは一つであるかの如く、SNS等でも身勝手な論争が飛び交う。

これまで日本人は、物事に真面目に取り組み、きちんとした結果を生み出し、世界に信頼を得てきた。しかし厳格に正しすぎる結果は、そろそろ『良い加減』で納めていく社会にするようおすすめする。決して「いい加減」でなく『良い加減』ですよ。

子どもたちが遊びを通じて学ぶ児童館でも、怪我を起こしてはいけない（子どもに失敗をさせてはいけない）とルールが決まりすぎて子どもの体験が減り、トラブルや怪我をする事が無いように運営出来る事が正義となっている。

子どもはトラブルを体験してどう対応したら良いか、ちょっとした怪我をしてどの様に遊んだら皆が安全に活動できるのかを体験し学び、考える力が養われるのに。ルールがあり守ることが正しい事で、何故そのルールが必要なのかは到底理解せず考える事もしない生活に慣れてしまう。そして大人になり現実とのギャップにストレスを感じ、人生や生きることを楽しめない事に行きついてしまうのである。

最低限のルールを『良い加減』で受け止め過ごす社会、少なくとも子どもたちにはそうした環境の中で育って欲しいと強く願う。

但し、安心してください！「組合交渉は仲間のために、妥協なくいきますよ！」笑。

Best Shot!! 第29回 ベストショットコンクール

一応募資格

◎自治労東京組合員・退職者会会員であること。

一部門

◎部門①　**テーマ「旅立ち」**
◎部門②　**テーマ「ネイチャー」**

◉写真1枚につき、上記のテーマから選んでください。
◉各テーマ　1人3点まで
◉どちらの部門も、カメラ・スマートフォンでの撮影媒体は問いません。

一応募

◎応募（記載事項）などに関する詳細については、右記のQRコード「自治労東京HP」をご確認ください。

一表彰

◎入賞作品は「自治労東京2027年新年号」と「自治労東京HP」に掲載し、以下の商品券をプレゼントします。

◉最優秀賞　1点（両部門を通じて）……5万円の商品券
◉優 秀 賞　各部門1点（計2点）……2万円の商品券
◉佳　　作　3点 ……5千円の商品券
◉特 別 賞　1点 ……5千円の商品券

一送付先

自治労東京都本部　企画総務局宛　TEL：03－3556－3755
〒102－0072　東京都千代田区飯田橋3－9－3
SKプラザ4階
Eメール：kikakusoumu@jichiro-tokyo.jp

◉郵送またはデータでの応募を受け付けします。
◉作品の返却はしませんのでご了承ください。

応募締切　12月2日（水）必着



前回の最優秀賞「秋の日」／立川市職労　渡邊　美穂さん

